

Remro-I（木部用） Q&A

Q. 松のアオは取れるのですか

A. 松のアオもマツヤニと同じく松自体から出るものです。製材された松の木のアオは Remro-I で取れますが、家の柱や梁に使用されている「松の丸太」の下部に出てきたアオは中から染み出て来ているので、取っても取っても出てきます。完全に除去する事は出来ません。

Q. ベニヤ板やスギ板は、Remro-I では反応が鈍いのですが…

A. Remro-I を2～3 倍に希釈し、刷毛塗りし、乾いたら Remro-F を2～3 倍に希釈し、刷毛塗りして下さい（ドライヤーで乾かして反応を見ると良い）

Q. 外の木部の洗いをしたのですが、誤って下の芝生に Remro-I をこぼしてしまったのですが大丈夫でしょうか

A. Remro-I は食品添加物を主成分に作っておりますので、植樹には基本的には影響を及ぼしませんが、中には四葉のクローバーの様に非常に弱い葉には、葉枯れをおこす事があります。しかし、根は枯れておりませんので施主様に御説明下さい。土から生えている植樹は結構ですが、施工個所の近くにある植木鉢類は移動してから施工してください。
直ぐに一応、水を流しておいて下さい。

Q. Remro-I を刷毛塗りした後、少ししたら木が毛羽立ってきた。または白い粉が出てきた。

A. 汚れのひどい木等は、セルロースと言う「人間で言う油分」がなくなっており、Remro-I を刷毛塗りすると紫外線に当たって黒くなったリクニンが元に戻り、その油分が飛んだ状態が現れ「毛羽立ち・白い粉」を出します（その木の本来の状態が現れます）

毛羽は乾いたウエスで、白い粉は濡れたウエスで拭き取ってください。

Q. 杉の木（板）に Remro-I を刷毛塗りしたら黒くくすんだようになった。

A. 杉の木（板）の赤味の部分に Remro-I を塗ると黒くなる場合があります。これは・・・

Remro-F を2～3 倍に希釈し、シミの部分に刷毛塗りして下さい。

Q. ワックスの塗ってある木に誤って、Remro-I を塗ってしまったら木が黒くシミのようになった。

A. ワックスの中でも天然蠟を使ったワックスには、一部化学反応をする場合があります。

Remro-F を2～3 倍に希釈し、シミの部分に刷毛塗りして下さい。

Q. 松から出るマツヤニは取れないのですか…

A. マツヤニは松の木自体から出るもので汚れ等ではありませんので、Remro-I では取れません。

Q. 無垢の木に Remro-I（木部用）を刷毛塗りしたが、反応が鈍い。

A. 家内の木の場合、築年数が経過していると、自然と経年の「手垢・タバコのヤニ・油汚れ」が付着し無垢の木でありながらコーティングされた状態と同じになる。

Remro-I を2～3 倍に希釈し、刷毛塗りした上で、スコッチブライトを木目に合わせブラッシングをする。木を覆った手垢やヤニが徐々に剥がれてくるので、更に Remro-I を2～3 倍に希釈し、刷毛塗りする。更に乾いた後で、2～3 倍に希釈した Remro-F を刷毛で一度塗って下さい（ドライヤーで乾かし木の反応を見てみると良い）。

※ Remro-I を塗ってとれない場合、少しスコッチ等でブラッシングをした上で作業をして下さい。

Q. Remro-I を刷毛塗りして、一旦きれいに落ちたが後で黒いシミが浮いてきた。もしくは、Remro-I だけではシミがとれない。

A. 木によっては、Remro-I を2～3 倍に希釈し刷毛塗りする事でシミ等があがって来る場合があります。また、経年のある木は汚れが木の内部にまで染み込んでいます。

Remro-F を2～3 倍に希釈し、シミの部分に刷毛塗りして下さい。シミが抜けたら色合わせを見て、シミの部分だけ白く浮く場合は、更に薄い Remro-F を全体に刷毛塗りして下さい。

※ Remro-I は、カビや日焼け等を一液で落としますが、染み込んだ経年のシミは取り切る事が出来ません。Remro-F を乾いた後、刷毛塗りする事で除去できます。